

2. 指標設定

成果指標	指標名	観光入込客数		目標年度	H27				指標の設定理由				
	数値	2,094,000人							豊後大野市外からの観光入込客数を増加させることを指標とし、数値設定はH20年度時点の道の駅のレジ客数の2.5倍とした。				
活動指標	指標	a	施設宿泊者数		b			c			d		
	数値	目標	7,550人		目標			目標			目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
観光入込客数	人	1,662,000	1,615,000	1,599,000
	%	79.4	77.1	76.4

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 施設宿泊者数	人	5,992	5,820	5,031
		79.4 %	77.1 %	66.6 %
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
施設が多いことにより財政的負担が多い。
対応（改善点等）
施設を抜本的に見直す。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

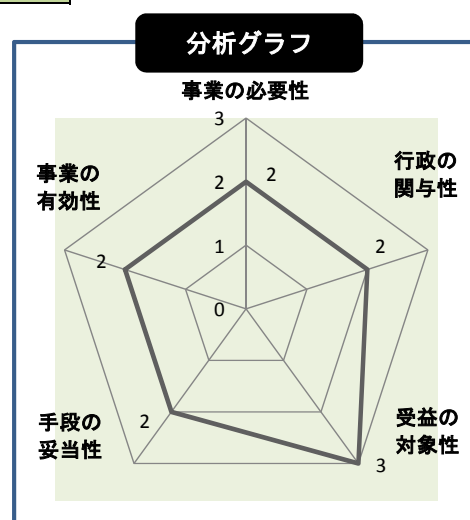
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		66,329	77,485	69,672	70,448
うち経常経費		64,944	55,507	56,168	57,724
財源内訳	国費			8,000	
	県費	312	900	1,299	312
	市債				
	その他	7,047	7,647	7,421	7,979
	一般財源	58,970	68,938	52,952	62,157
うち経常		57,585	47,548	48,435	57,724
事業費に係る人件費		4,300	9,103	6,974	6,875
事業費に係る人役		1.00	2.12	1.60	1.55

6. H27年度予算の方向性

方向性
減額
理由
施設を抜本的に見直していくため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	2 一部施設の見直しが必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 施設の地元や民間への譲渡を検討する。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市や市民にとって有効であるため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 目標達成のために適切な手段であるが、検討の余地がある。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 期待したほどの成果があがらなかった。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
見直し	公共施設の見直し方針に則り業務を進めるとともに、個別状況の整理を行うこと。